



山形市



Life is Tech!

9/1 火

無料

DX/AIの「考え方」の習得から、自社業務への「AI導入」まで

はじめての DX/AI 実践ワークショップ

「DXって、何からどう手をつければいいの?」「AIを、本格的に業務で活用するにはどうしたらいいの?」
そんなお悩みをお抱えの皆さまに、DX/AIの「考え方」から、生成AIの「特性や活用方法」、実際に自社の業務でAIを活用できる実践的なスキルまで習得いただけるプログラムをお届けします。経験豊富なインストラクター陣が皆さまの学びと実践を手厚くサポートしますので、デジタル活用やAI活用の経験が浅くても大歓迎です。明日から使える「DXの思考法」や「AI活用スキル」を、まるごとお持ち帰りいただけるプログラムです。

DXの「考え方」を習得し、
ちょっとした「業務アプリ」が作れるようになる

様々な生成AIの「特性」を理解し、
「活用方法」を習得できる

AIを自社の業務に組み込んだ、
「AIアプリ」まで作れるようになる

DX人材育成研修

令和8年

10/14 水

または

令和9年

1/19 火

時間 9:30 - 18:00

AI研修 入門編

令和8年

10/15 木

時間 9:30 - 13:30

AI研修 活用編

令和9年

1/20 水

時間 9:30 - 13:30

対象

山形市内在勤の方(1社で複数名受講も大歓迎)

定員

各回25名

※ 先着順です。定員に達し次第締め切らせていただきます

持ち物

パソコン(必須)、スマートフォン(お持ちの方)

※ 業務用・私用は問いません

※ タブレットは不可です

※ パソコンの持ち込みが難しい場合は、こちらで用意いたします

応募はこちらから



二次元コードの応募フォームに
必要事項をご記入ください

URL

<https://lit.sh/yamagata2026>

応募受付開始

9/1 火 0:00 から

※ ご入力いただいた個人情報は、本事業の運営およびご連絡の目的のみに使用いたします

プログラムの詳細

DX人材育成研修

令和8年

10/14 水
または

令和9年

1/19 火

自社の課題整理から、簡単なツールを使った業務改善アプリの作成までができるようになる！

- step1 業務の困りごとから解決したい課題を設定する
- step2 必要な情報を整理し、データベースを設計する
- step3 簡単なツールで業務改善アプリ(仕組み)を作成する

DX人材育成研修は10/14・1/19とも同一内容です。
ご都合の良い日程をお選びください。

AI研修 入門編

令和8年

10/15 木

生成AIの基礎とプロンプト(指示)のコツを学び、日常業務をすぐに効率化できるようになる！

- step1 生成AIと検索の違いを正しく理解する
- step2 ケーススタディを通してプロンプト作成を体験する
- step3 自分の業務でどう活かせるかを整理する

AI研修は、入門編受講後に活用編へ進むことでより理解が深まります。
セット受講を推奨いたします。

AI研修 活用編

令和9年

1/20 水

生成AIを自社業務へ本格的に組み込み、組織の生産性を高められるようになる！

- step1 精度を高めるプロンプト構造(データと指示の分離)を理解する
- step2 自社の業務プロセスへのAI組み込み構想を描く
- step3 自分の業務でそのまま使える実践プロンプトを作成する

会場

山形市男女共同参画センター「ファアラ」5F 視聴覚室

〒990-0832 山形市城西町2丁目2-22

※ 駐車場を無料でご利用いただけます

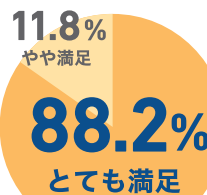
プログラムの特徴

これまで、4万人以上(*)が参加し、高い満足度を得た
「初心者でも楽しみながら学べる」プログラムです。(*)2025年10月現在

DX支援経験豊富なインストラクターが丁寧にサポート！



令和7年度の受講者満足度



全然DXの事を知らず大丈夫かと不安でしたが、初心者でもわかりやすく、面白く、丁寧に研修を受けさせて頂いて、「DXとはこういうことか！」と勉強になりました。ありがとうございました！
(研修参加者の声)

とても満足～とても不満の4段階評価

実業務に活用可能なDXの考え方やスキルを習得

受講者の方々からは、多様な自社の業務・シーンで、学んだDXの考え方やスキルを活用されている声をいただいています。

Webフォームでのアンケート集計を導入し、紙の回収・集計時間をゼロにできました。

顧客(利用者)の情報管理をスプレッドシートに集約し、リアルタイムで社員間で情報共有できる体制の土台ができました。

現場の課題をリスト化したことで、次年度の予算で導入すべきデジタルツールの優先順位が明確になりました。

※ 令和7年度研修受講生のアンケートより



Life is Tech! ライフイズテックについて

ライフイズテックは「世界を変える力を、すべての人に。」をミッションに、デジタル教育を核とした次世代の人材育成プログラムを提供しています。これまでに多数の大手企業や、官公庁向けのデジタル・DX研修を展開し、延べ4万人以上の学びを支援してきました。組織において、デジタル人材がその力を最大限発揮しイノベーションを創出するには、デジタル活用が根づく組織文化の形成が不可欠です。そのため、私たちは多様な法人向け研修を通じて、デジタル活用が当たり前前に承認・支援される組織への変革を後押しし、次世代を担うビジネス人材の活躍を加速させます。

<https://life-is-tech.com>

